

広報ふじ

昭和38年6月1日発行 定価 1部 2円

市勢の動き	
(98.5.1現在)	
面積	30.55平方町
人口総数	50,805人
男	25,875人
女	24,930人
世帯数	10,940世帯

財政事情の公表

市のお金はこのように使われました

37年10月1日～38年3月31日迄の6カ月間

市財政の重要性については、いまさら述べるまでもなく市民の生活に深いつながりをもつ市政は、市財政によつて支えられるのであります。そこで市では市民の皆さんが市の行政に要する費用をどれだけ負担しているか、又国や県からの交付金、あるいはその他の公金などがどれだけ市に取入されているか、そしてそれがどのように使われたかを明らかにして広くその実態を知っていただくため市では、条例にもとずいて毎年六月と十二月の二回にわたり市の財政事情を公表しております。

今回の公表は、昭和三十七年十月一日より昭和三十八年三月三十一日までの昭和三十七年度富士市一般会計歳入歳出予算の執行状況を中心にこれに伴う市財政の動向を記したものです。「今日より明日へ」と、市民の生活の改善を図り、より高い文化を求めて向上することが市政の目標であります。市民の皆さんにこの財政事情を見て戴くことにより、市財政の実情をご理解ねがい、今後更に市財政の充実、健全化を実現したいとお願いいたします。

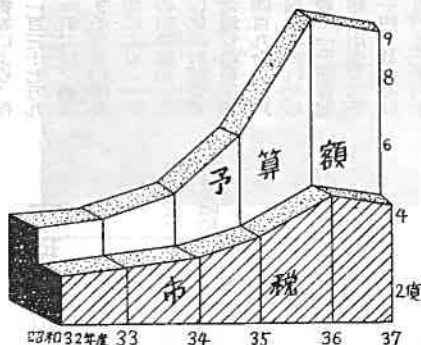
近代都市建設へ

田子浦港 道路網の整備を重点

当市の発展は、田子浦湾を整備と共に最近特に大、中工場の進出、道路網の整備等により目まぐるしく変わつております。これに並行して住宅建築も非常に多く、したがつて人口の増加はいちじるしいものがあります。

こうしたなかで近代都市建設のために市は、公共施設の整備、生活環境の改善のために多額な財政支出を必要としている

予算総額及び市税予算額の推移(各年度最終予算額)



一般会計予算
一般会計は市財政の中心をなすものであります。

昭和三十七年度当初予算の概要については、前回の財政事情で説明いたしましたので、今回はその後の市財政の動きを説明いたします。

当市の財政は、市勢の進展とともにその財政規模も多額になつてまいりました。皆さんご承

6月 広報メモ
△……じめじめした、いやなつめがやつてくるのが六月。
△……遊びさかりの幼児にとつてはかわいそうな時期です。放っておくと運動不足、睡眠不足、食欲不振などをおこします。そこでお父さんやお母さんたちにおちよつとした思いやりと工夫をこらしたいので、この雨の日を利用して幼児の情操教育をかねて伸び〜と遊ばせることを考えてみましょう。

知の通りここ数年の富士市は各種工場の進出拡張や田子浦湾の築港、また都市計画道路の整備とその発展ぶりは誠に目覚ましいものがあり、静岡工業都市の建設へと着々と進んでおります。五年前の昭和三十三年度の予算額三億七千六百七十四千円に対し現在では、九億二千四百七十五万二千円と、二・五倍の財政規模をもつたことには、当市勢の成長を如実に示しているといえます。

次に最近五年間における各年度の最終予算額並びに市税予算額の推移を図で示すと、上の図のとおりです。



「何でも相談ください」

市役所への苦情や、市政に対するご意見
あらゆる相談を
市民相談室へ
お気軽にお持ちより
下さる。